

第 61 回地区医師会連絡協議会 「人材斡旋業者に関するアンケート集計結果報告」

那覇市医師会 副会長 玉井 修



医療介護施設における人材の確保は非常に困難な時代となっている。10 年ほど前まではハローワークなどの公共機関や新聞の募集広告を利用して何ら不足を感じなかったが、最近では全く様相が変わってしまった。募集を出せば複数の募集が集まり、事前に書類選考しなくてはならなかった時代は既に遠く、これまでの方法で募集を出しても一本の電話もかかってこないのが現状であり、医師、看護師、介護職員、医療事務も全く採用できない状況が続いている。スタッフを十分に集める事が出来ないために泣く泣く施設を閉じなければならない状況もあるらしい、今や医療介護業界は人材をいかに集めるかがその存続に関わる大きな課題となってきた。看護師数などで施設基準を取らなくてはならない場合などは、まさに手段を選ばない。そこで昨今その存在がクローズアップされてきたのが人材斡旋業者の存在である。沖縄の

医療介護業界において、今やその生命線を握っているのかも知れない人材斡旋業であるが、その中身は正に玉石混淆で親身になって医療業界の良きパートナーとして関わる業者も居れば、ほとんど人材転がしをして医療業界から甘い汁を吸う寄生虫の様な業者もあると聞く。人材斡旋業が今のところ何ら規制の無い、open な事業であり、彼らにモラルを強いる事はかなり難しい。しかし、何も判らない医療現場を良い事に、斡旋業者の主導で不利益な契約書を交わされ、言い値で高い契約料を支払い、Duty の期間を過ぎれば次の斡旋手数料をせしめるために別の医療機関へ人材を転がす等といった不誠実な業者も横行していると聞く。私たちは何も知らない。私たちにだって十分な情報を知った上で informed consent を求める権利はある筈である。このままでは、悪徳業者が横行し、その為に医療業界はその身銭を悪徳業者に吸い取られ

る温床となる。我々にだって、自助、共助する権利はある筈である。

そこで、今回那覇市医師会では各地区医師会に呼びかけて緊急のアンケート調査を行った。アンケートは令和1年9月の1ヶ月間で、対象は医師会会員が居る医療系施設である。A会員の居る施設で把握している764施設のうち回答があったのは310施設で回収率は41%であった。施設の規模に関しては無床診療所が238施設で最も多かったのが老人保健施設、規模の大きな病院からの回答もあった。(図1.2)

Q1、所属医師会をご教示下さい。

- ①北部地区医師会 ②中部地区医師会 ③浦添市医師会 ④那覇市医師会
⑤南部地区医師会 ⑥宮古地区医師会 ⑦八重山地区医師会

地区名	北部	中部	浦添	那覇	南部	宮古	八重山	計
A会員数	60	223	85	234	113	23	26	764
返書数	18	88	23	113	44	7	17	310
返書率	30%	39%	27%	48%	39%	30%	65%	41%

図1

Q2、施設の経営区分をご教示下さい。

- ①無床診療所 ②有床診療所 ③老人保健施設
④病院(200床以上) ⑤病院(200床未満) ⑥その他()

無床診療所	有床診療所	老人保健施設	200床以上病院	200床未満病院	他	計
238	21	6	21	22	2	310



図2

人材斡旋業者を利用したことがあるかどうかの設問では、活用したという回答が44.5%で活用しなかったという回答が55.2%であった。これを病院の規模別に見ていくと活用したと答えたのは、無床診療所34%、有床診療所43%であったのに対し、老人保健施設や病院ではほぼ100%となり明らかに経営規模拡大によりその活用の度合いが大きくなる傾向が見て取れる(図3.4)。これをどう解釈するかは難しいが、

診療所では斡旋業者を利用しなくても人材が調達出来ているために要らないという事ではないと思う。高額な斡旋手数料を支払う事ができずに診療所では利用したくても利用できないというのが現状であるまいか。また施設基準の関係上大きな病院では高額な斡旋手数料を支払ってでも頭数を揃える必要があり、あるいはそこが斡旋業者の狙い目ではあるまいか。

Q3、5年以内に人材斡旋業者を活用したことはありますか？

- ①活用した ②活用なし

活用した	活用なし	無回答	計
138	171	1	310
44.5%	55.2%	0.3%	100%

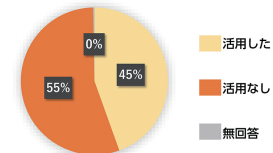


図3

無床		有床		老健		200床以上病院		200床未満病院		他	
活用した	活用なし	活用した	活用なし	活用した	活用なし	活用した	活用なし	活用した	活用なし	活用した	活用なし
81	156	9	12	6	0	20	1	21	1	1	1
34%	66%	43%	57%	100%	0%	95%	5%	95%	5%	50%	50%

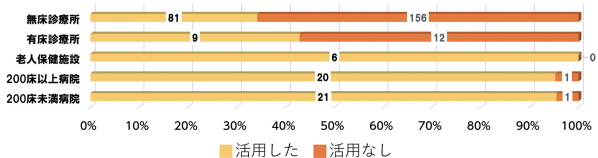


図4

さて、その斡旋手数料であるが、契約締結時にいくら支払うのか？という問いにはあまり多くの回答は無かった。聞き方を変えて、契約年収の何割を斡旋手数料として支払うのか？と問い直してみたところ、契約額の20%が最多であるが中には30%、50%という手数料の支払いもあり、これは明らかに暴利であろう。20%が妥当かと言われれば解らないが今のところ20%が相場と言えそうである。よって年収400万の看護師の斡旋手数料は80万となり、年収1,200万の医師の場合は240万となる。これは一般の診療所で支払うのはかなり厳しいと言わなくてはならない。(図5.6)

Q4、斡旋業者を利用した際の業者へ支払う手数料をご教示下さい。（複数回答あり）

- ①契約締結時に（10万円、20万円、30万円、40万円、50万円）
 ②契約額の（10%、20%、30%、40%、50%）
 ③月額・時給額で契約し手数料等は込みである（月額・時給額 円）
 ④その他（ ）

①契約締結時に					②契約額の				
10万円	20万円	30万円	40万円	50万円	10%	20%	30%	40%	50%
4	6	6	4	4	17	56	18	0	1

図 5

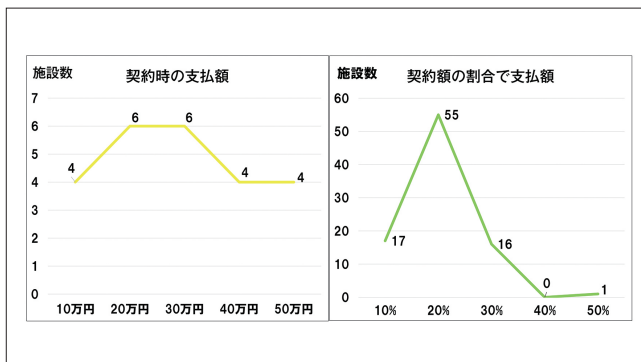


図 6

採用職種を聞いてみると医師、看護師、准看護師、薬剤師が多く、医療事務もかなり多い。(図 7.8)

Q5、採用職種をご教示下さい。（複数回答）

- ①医師 ②歯科医師 ③薬剤師 ④保健師 ⑤助産師 ⑥看護師 ⑦准看護師
 ⑧診療放射線技師 ⑨臨床検査技師 ⑩理学療法士 ⑪作業療法士 ⑫管理栄養士
 ⑬医療事務 ⑭その他（ ）

医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	放射線技師	検査技師	理学療法士
33	0	11	2	5	105	34	1	6	7
作業療法士	管理栄養士	医療事務	臨床工学士	事務	介護福祉士	看護補助者			計
5	1	22	1	5	6	5	3		252

図 7

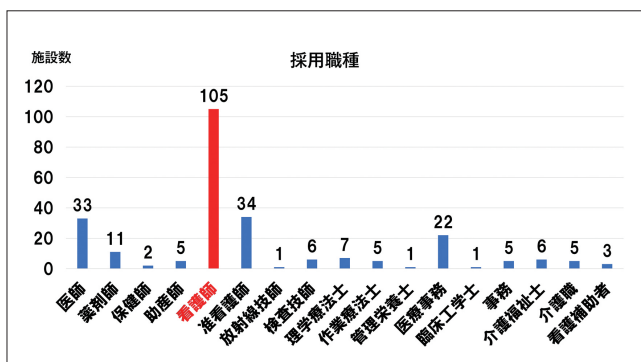


図 8

気になる定着率であるが、これは若干悪いという印象であるが殊更に劣悪とも言えない。(図 9.10)

Q6、斡旋で雇い入れた職員の契約期間中の定着率をご教示下さい。

- ①契約期間満了しても（(f)更新をしている (i)更新していない）
 ②通常採用の方と比較して定着率は（(f)良い (i)普通 (j)悪い）
 ③その他（ ）

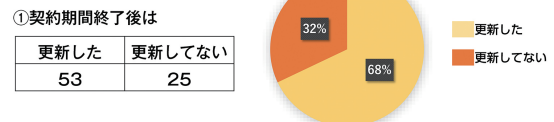


図 9

②通常採用の方と比較して定着率は

良い	普通	悪い
12	58	31

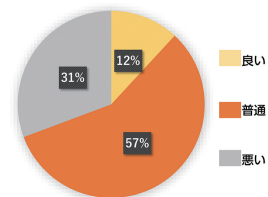


図 10

今回のアンケート調査では回収率が40%強で、医師会会員の居ない介護施設等はその調査対象になっていないため、県内の人材斡旋業がどのような状況にあるのかを全て把握できたわけでは無い。しかし、今回の調査でもその問題点の一端を見ることはできたと思う。今回の調査から逆算すれば、かなり控えめに見積もっても医療系人材斡旋業は沖縄県だけで年間1億円のマーケットとして既に存在している。斡旋手数料だけで年間1億である。どおりで多くの業者が群がってくる訳である。このような状況で我々は、人材斡旋業者との対等な関係には無く、向こうの言いなりになっている感が強い。それは我々が情報を共有すること無く、それぞれが個々に対応しているためである。少なくとも情報を共有し、優良な業者との対等なパートナーシップを築く必要がある。那覇市医師会は今回のアンケート調査の必要性を痛切に感じ、

11月9日の地区医師会連絡協議会にこの内容を緊急報告し、さらに県医師会報にその調査結果を掲載する。また、この調査を来年も実施し、人材斡旋業者に対する経過観察を実施する事とした。

今回のアンケートではフリーに様々な意見をお聞きした。抜粋してご紹介したい。

【人材斡旋業者を利用して良かった点】

- Dr の場合は早く探せる。
- speedy に対応している。
- いつも利用している人材サービス会社は良心的であり、当院への理解もあり適切な人を紹介してくれている。信頼関係が成り立っていると思う。
- こちらの希望に合わせて紹介してくれることです。
- これで入職があると不安がまぎれた。
- スポット契約だがほぼ同じ医師が来てくれる。
- ***社は訪問して当院のヒアリングや、求職者への説明も丁寧で入職後の定着も良い。手数料も妥当。
- なかなか見つからなかったため利用した。今回はよい人を紹介してくれてよかったと思います。
- ハローワーク・新聞等で募集しても応募がなかった時に紹介があって助かった。
- ハローワークの求人ではほぼ看護師・准看護師の応募者はいないので、紹介してもらえるのが助かります。
- 医師が不足で配置できないときは有効。
- 看護師紹介会社を利用したが、格安で信頼のおける会社。事前に条件等説明してくれるので、理解した上で面接を行ないスムーズに進められる。
- 基準条件に合った人材が確保できる。
- 希望の年齢を伝えることができる。
- 期間を限定して雇ったり、レスポンスが早く、いい人材が多い。
- 急にスタッフが辞める時には助かった。
- 求人募集しても全く反応がなかったので、経

験者が来てくれたのは良かった。

- 業者との信頼関係もあり、いい人を派遣してもらっている。
- 契約トラブルが低い。第三者にもしっかり契約内容が伝わる。
- 経験者や資格を持っている。
- 県外からのやる気のある方（引っ越してこられた自衛隊員の奥様など）が見つかる。
- 高い能力を有するスタッフを採用できた。
- 今時はハローワークよりネットなどで求職する方も多いようです。幅広い人材がいるかもしれないと思っています。
- 採用するまで複数の応募者と面接できる。
- 採用に莫大な時間をさかなくていい
- 産休等で休職している職員の代替要員を有期で確保することが容易。斡旋・紹介される労働者の詳細な経歴や技能の把握が事前に可能。
- 産休補充ができています。
- 事前の条件等のすり合わせができ、トラブルが少ない。
- 事務関係は割といい人材を紹介してくれる。（毎月、本社にて教育もあるようだ）看護師の場合は定着率が良い。
- 自院採用活動しなくても面接までの調整ができる。
- 紹介情報がしっかりしていた。
- 人脈がない中、必要な診療科の採用につながった。
- 先方が探してくれる。短期契約が可能（6ヵ月）産休など。
- 地元で採用が困難で業者依頼で採用がスムーズに対応。
- 日本全国から沖縄希望者の紹介の機会が増える。
- 派遣として数か月勤務。その後、直接雇用となったが、派遣時の時給が高い。

【派遣業者を利用して困った点】

- 1. 具体的な履歴と採用後の評価で大きな違いがあり、結果打ち切り。2. 業者本位でなく、自らの生活優先で契約を打ち切られる。1年のみでその後、業者は利用していない。今後

- 医師会としても検討すべき問題だと思う。
- 1 回に 100 万円近くでるので困った。
 - ①手数料が高い。②定着率が悪い。③人材斡旋の FAX や電話が何度もあり迷惑。
 - 1 週間で辞めてしまい、次の方が決まるまで時間がかかった。手数料が高い。
 - 1 度使用して以来 2 度と使用していません。恐らく斡旋業者では面接しておらず、電話での印象でのみ評価され紹介されてくる。登録ナースが個人で契約することを禁じられているようで囲い込まれている。仲介料が高い。
 - 8 年前に活用したが、主たる来沖の目的がダイビングであり、余った時間のアルバイトという人だった。
 - Dr の器量が会社の評価より悪い。田舎だと思ってくるので、仕事ができない人もいた。
 - コストが高すぎる（例外と思うが、ひとり、准看免許の原本の提出を拒否。結局辞めました）
 - その他の介護・看護等の紹介会社は高額すぎるので関わらないようにしている。「会社と職員」が手を組み、契約金の数 % が職員に渡され数か月で辞め、繰り返されるとの情報アリ。
 - 斡旋会社によって高額な条件を提示してくることがあったので慎重に選ぶ必要がある。
 - 斡旋業者がなくても誰でも自由にネットで探せる時代。仲介手数料が高すぎる。特に医師の場合、何百万円となり経営に大きな影響あり。
 - 斡旋業者の医業でのあり方を考えて欲しいと思います。人を動かす事で利益を上げている職種からの人材を育成しにくいです。
 - 以前、どうしても Ns が見つからず、他の斡旋会社を利用したが、料金が年収の 30% と高額であったのに手数料の返金期間をすぎてすぐに辞めてしまったので不信感を抱き、その後この会社は利用しないことにしている。
 - 以前利用しようと進めていたことがあり、契約時の金額のみならず、毎月給与は会社に支払いして手数料を 10% 差し引いて本人に支給されるようなので、納得できず辞めたことがあります。
 - 違約金の規程、ちょうど過ぎた 1 か月後に退職希望（この仕事向いてない）。
 - 医師会で人材のマッチングをやってくれたらいいと思います。最近は業者が多くなり過ぎているように感じます。
 - 一人しか紹介してくれないので選択の余地がない。履歴書を出してくれない。専門職としての自覚がない人でも免許さえ持っていれば紹介してくる。
 - 一度も活用したことないが、人材斡旋業者からファックスが毎日、用紙を 3～4 枚捨てるハメになっているので、大迷惑している。日本医師会が長年放置しているのを疑問に思っていました。
 - 沖縄という中央から離れた遠い地域に応募する医師は前科者や医療事故該当者が多く、医師の能力と資質に問題のある医者を平気で斡旋する業者が多い。
 - 割高！例えば、医療事務で時給 1,400 円（本人は 1,000 円）だった。
 - 希望給与が当院基準より高額なことが多く対応に苦慮。
 - 期間満了・自主退職があまりにも多い。
 - 求職者の意思（就職希望）が斡旋業者と温度差がある。
 - 業者が介した交渉による給与額の高騰。
 - 業者へ支払う手数料（成功報酬）が高い。介護職でも常勤職員を採用すると、約 60 万円の手数料が発生します。
 - 業務内容の規制がある（例：車の運転は不可）。その割に時給が高め。
 - 雇い入れた職員に対して業務や技術取得のための教育時間と担当スタッフを配置しても、1 年以内に退職されてしまうと教育スタッフの意欲の低下となってしまう。
 - 採用時、書類及び TEL 面接の為、スキルの低い者がたまにいる事。
 - 手数料が高い。県内の人材が何故、本土業者にコントロールされるのか疑問である。
 - 手数料が高い。足元を見たアプローチが許せない。

- 手数料が高い上に定着率が悪いことがデメリットです。業者からの問い合わせが多すぎる。
- 手数料が高額であった。採用人材の時給も高めになった。人件費が高くなる。
- 紹介は多いが面談にはつながらない。
- 紹介手数料が高額であること。業者を通してのやり取りになるので、医師本人の人柄がみえない。
- 常勤に変更する際に高額な違約金を払わされた。
- 人件費高騰。複数会社との取引の為業務の数か月で辞めても返金がない。手数料が高い。
- 増えてくると毎月の勤務実績報告が煩雑になる。人材斡旋業者に依頼する件数が増えたらコスト（手数料）も増える。
- 短期で退職した場合（特に1年以内）、支払い手数料と成果（ある程度の勤務年数の確保）とのバランスが悪く、デメリットとして考えられる。
- 中には不適應な人間の上に、労働基準局に職員のパワハラがあると言ってやると脅して退職し、全員が嫌な思いをする。
- 定着率に対して、費用対効果が薄い感がある。（手数料が高価）
- 定着率の低さ。手数料が高額なこと。
- 定着率は不安があります。
- 途中まで利用したが、採用直前にトラブルとなり、エージェントの対応も納得いかず取りやめとなった。
- 東京のナース人材バンク会社から紹介の案内があり、希望すると“まずは契約書をかわして…”と言われ契約を交わしたが、その後紹介の連絡はなかった。4ヵ月経過しているが何の連絡もない。
- 特に県外業者の場合ですが、応募者本人の「問題点」が全く把握されておらず、採用したら全く役に立たない（欠勤が多い等）。それなのに手数料が高く、短期で辞めても返金が少ない契約になっていて、無駄な出費になったことがありました。
- 入社してすぐに辞めてしまったので、とても困りました。（再求人か手数料など）

- 入職して一週間で無断欠勤し、その際の連絡が全く取れないとき困った。
- 年々、斡旋料が高騰している。
- 普通に求人はたくさん出ている中で、なぜ斡旋業者を使うのか訝しんでしまう。当院は****社以外は全てお断りしている。
- 本土の業者は活用したこともないけど、募集のない時でもいろいろな業者からTEL・FAXが届く。TELの場合一応対応しなくてはならないので時間の無駄。基本的には紹介料が比較安い県内の業者のみとお付き合いをしている。

【その他の意見】

- 沖縄県医師協同組合で医療関係者バンクを設立運営してはいかがでしょうか。
- 質が悪いらしい。業者が期間満了時にナースに更新を認めず退職させ、別のナースを紹介し手数料を取るというビジネスモデルと、以前勤めていた所が言っていました。
- 当院は人材斡旋業者は利用したことはないが、ハローワークに看護師の募集をかけたところ、ハローワークや本人からの連絡は一切ないが、斡旋業者が「ハローワークを見ただけで貴院で働きたいという看護師が何人かいます。紹介できますが。」と面会に来ておりました。実に不可解です。看護師さんも斡旋業者さんからのお祝金を目当てにしているのではないのでしょうか。そういう人はちょっと気にいらないことがあると当然辞めてお祝金欲しさに又登録して次を探すのではないのでしょうか。全く困ったものです。（当院は今後どんなに困っても斡旋業者を利用するつもりはございません。）今の実情にこのようなアンケートを行っていただいた那覇市医師会の会長、副会長、事務局の方々には頭が下がる思いです、今後協力できることは出来る限り協力したいと思います。お疲れ様です。ありがとうございます。

上原 茂弘先生「小さな訪問者」 (令和元年7月号掲載) を表彰!!



妻が植えた庭のヒスイカズラの苗が成長し、3年前から花をつける様になった。
翡翠色の勾玉の形の花が1m以上も房状に連なり、何十本も長く垂れ下がり、風に揺れている。
友人達の他に今年はメジロもよく訪ねて来てくれた。

休日の朝、庭にカメラを備え付け、私は隣室でゆっくりコーヒーを飲みながらスマホからのリモート操作でシャッターチャンスを持った。

アドベンチスト・メディカル・センター 上原 茂弘

コメント

今年度の表紙写真年間グランプリは上原茂弘先生の「小さな訪問者」(令和元年7月号)に広報員全員一致で決定しました。先生おめでとうございます。私自身初めて見ましたが、翡翠カズラの名の通り、引き込まれるような青で

すね。よくよく見ると水色と青紫の2種類からなっていることに気づきます。早速 google 先生に聞いてみました。青色系の花の色素であるアントシアニンのコピグメント効果によるらしいです。花言葉は「私を忘れないで」だそうで、メジロもこの時期を思い出して訪れたのでしょうか。

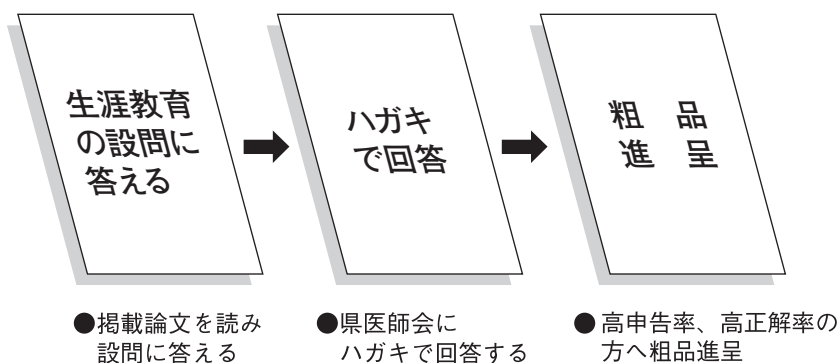
広報担当理事 本竹秀光

沖縄県医師会報 生涯教育コーナー

当生涯教育コーナーでは掲載論文をお読みいただき、各論文末尾の設問に対し、巻末はがきでご回答された方の中で高率正解上位者に、粗品（年に1回）を進呈いたします。

会員各位におかれましては、多くの方々にご参加くださるようお願い申し上げます。

広報委員



CORRECT ANSWER!

11月号(Vol.55)
の正解

上部尿路結石に対する 経尿道的尿路結石碎石術について 問題

次の設問1～5に対して、○か×でお答え下さい。

- 問1. 上部尿路結石患者は増加傾向にある。
問2. 経尿道的尿路結石碎石術は一般的に、上部尿路結石に対して低侵襲で有効な碎石術である。

- 問3. 20mm以上の大きな結石にも積極的に経尿道的尿路結石碎石術が適応される。
問4. 高齢者の尿路結石による閉塞性腎盂腎炎に対しては、全例尿管ステント留置術を行うべきである。
問5. 尿路結石予防に、肥満の防止は重要である。

正解 1.○ 2.○ 3.× 4.× 5.○

日医医賠責特約保険未加入のA会員のみなさまへ

日医医賠責特約保険 中途加入のおすすめ

毎月1日での**中途加入**ができます

日医医賠責**特約保険**は、日医医賠責保険の特色を継承し補完する、**A会員の任意加入保険**です

平成30年4月以降に新たに創設される介護医療院(法人立の場合定員99名以下)も特約保険の対象とすることが出来ます。

特約保険の特長

日医医賠責保険の上乗せ

開設者・管理者責任のカバー

高額賠償への対応

合理的な掛金

加入をおすすめするA会員

非A会員が起こした医療事故について、開設者・管理者としての賠償にも備えたいA会員

法人(99床以下の法人立病院と法人立診療所)の責任部分の賠償にも備えたいA会員

高額賠償の支払い(1事故2億円、保険期間中6億円まで)に備えたいA会員

特約保険と日医医賠責保険の関係

(てん補限度額)	2億円	「特約保険」 拡張担保特約部分		
	1億円			
(自己負担分)		「日医医賠責保険」 基本契約部分		
		免責金額(100万円)		
		行為者責任	開設者・ 管理者責任	開設者責任
		A会員		A会員が理事 または管理者 である法人
				(責任)

保険期間

中途加入月1日から
令和2年7月1日

中途加入手続き

中途加入月の前月15日までに
所属の都道府県医師会
(一部地域によっては、郡市区医師会)へ
※詳しくは裏面ご参照

●お問い合わせは本会まで●

日本医師会(医賠責対策課) 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 TEL03-3946-2121

沖縄最高です！
みんなで盛り上げて
いきましょう！！



琉球大学院医学研究科消化器・腫瘍外科学講座(第一外科)教授

高槻 光寿 先生

質問 1. 大学院医学研究科消化器・腫瘍外科学講座(第一外科)教授ご就任おめでとうございます。ご就任に当たってのご感想と今後の抱負をお聞かせ下さい。

まず、沖縄という土地に縁ができて、大変嬉しく思っています。私は大分県で生まれ育ち、前任地である長崎大学へ入学以降もずっと九州で過ごしてきたいわゆる九州男児ですが、沖縄で生活するのは初めてでワクワクしています。着任して半年が過ぎ、土地柄・人柄ともに私にフィットしており、単身赴任ですが快適な日々を過ごしております。今後の抱負として、外科医を増やすことと、沖縄特有の外科的な健康問題を明らかにして対応していくこと、を考えています。沖縄がかつての長寿県でなくなっているのはみなさんご存じのとおりで、生活習慣がその原因のひとつであることは疑いありませんが、外科的な視点からそれに伴う発癌や臓器不全の病態を明らかにして、治療につなげていきたいと思えます。われわれの担当である消化器・乳腺内分泌・小児外科それぞれで、特定機能病院として「沖縄最後の砦」の役割を果たしていきたいと考えています。私のライフワークである肝移植については、相当数の患者が沖縄から出て手術を受けている現状がありますので、これも近い将来開始するべく準備しています。

質問 2. 高槻教授が目指す講座運営の方針等についてお聞かせ下さい。

着任するにあたり、教室のテーマを「患者第一」としました。消化器・腫瘍外科という組織に、なんのために我々が集っているのかを明らかにするためです。当然すぎるテーマですが、特に大学病院では年々「研究」「教育」の比重が大きくなり、本質を見失いがちになります。私自身がそうですので、自分への戒めの意味でもこのようなテーマにしました。研究は、とりあえず学位を取るため、ではなく患者を治療するうえで今本当に困っていること、また将来の患者の治療につながることをすべきですし、教育も学生や研修医のためであるのはもちろんですが、本来患者のための良医を育てるのが最大の目的ですので、臨床実習では患者さんからより多くのことをベッドサイドで学ぶ姿勢を疎かにしないように指導しています。教室の運営に関しては、教室員各自がなんらかの役割をもち、和気あふれる中で自由に議論して発展していく組織を目指しています。医局員は多くはありませんが教育熱心な「教え好き」の者が揃っておりますので、学生や研修医も生き生きとしており、活気があります。

質問 3. 琉球大学医学部附属病院は県内唯一の大学附属病院として県民から寄せられる期待が大きいと思います。県立病院を含めた他病院、診療所との連携、離島医療に関してご意見をお聞かせ下さい。

全国的に外科医不足が叫ばれて久しく、沖縄も例外ではありません。もっと深刻な県はありますが、この数年沖縄全体で外科専攻医5名前後という状況が続いています。初期研修は例年150名程度と多く減少傾向もないため、そのあとの専門医育成の段階で敬遠されている可能性があると思っています。手術を含めた診療のレベルは高く「沖縄で完結」は達成できているのに、専門研修の段階で「沖縄では長期的に外科医としてやっていくのは難しい」と誤解されているのではないかと懸念しています。専門医機構による改革で、若い医師たちは自分の長期的なキャリアパスを明確に意識していると思いますので、ぜひ県立病院、民間病院、また地域医療施設と連携して沖縄全体で外科医を育成するシステムをさらに発展させていきたいです。沖縄は島嶼県なので、まとまりやすさの点ではむしろアドバンテージがあると思っています。また、手術だけでなく臨床研究も重要ですが、前述したとおり沖縄は生活習慣に伴う健康問題で、現代の日本全体の縮図のようになっていて感じています。沖縄から情報発信することは、将来の日本全体の健康問題を解決することにつながると信じておりますので、ここもぜひ沖縄全体で協力し共同研究していけるようにしたいと思っています。

質問 4. 県医師会に対するご要望等がございましたらお聞かせ下さい。

沖縄はよい意味で県医師会の現場への影響力が強い、という印象です。初期研修の開始時も、医師会が中心となって研修医のオリエンテーションを行っていると同じでした。素晴らしいことだと思います。前述のように沖縄は大学病院・県立病院・民間病院がよいバランスで鼎立していると思いますので、医師会からもご指導いただきながら、沖縄県の健康増進のため『All Okinawa』でひとつになって発展するべく、とりまとめとしての役割をお願いしたいと思っています。

質問 5. 大変ご多忙の身であります、日頃の健康法、ご趣味、座右の銘等がございましたらお聞かせください。

好きな言葉は「縁に随う」です。正直なところ、今までの人生で自ら決めたのは台湾へ留学したときくらいで、あとは言われるがままにやってきただけな気がします。主体性がない、と言われればそうですが、与えられた環境で己を発揮しベストを尽くす生き方を尊重します。健康については、なるべく歩くことを心掛けている以外、特に何もしてません。お酒が好きなので、飲みすぎないようにしています。沖縄はオリオンビールや泡盛など誘惑が多いですが…自分が肝硬変になってはシャレにならないですね。気をつけます。

インタビューアー：広報委員 玉井 修



「ノーカーライフ」を始める

城間医院
城間 政州

ついに運転免許証を返納することに決めた。昨年10月から車なしの「ノーカーライフ」に入っている。これまで五十数年親しんできたカーライフから別れるのは寒につらい。

去る8月、旧盆の折り、息子達3名からそろってすすめられた。「この先、どんなことが起こるか分らない、晩節を汚すことのないようにしてほしい」とのことである。これまで晩節というほどの立派な人生を歩ゆんできたわけでもないが、彼等の気持ちはよく分かる。

この頃、高齢者の車事故のことが時々メディアに大きく流されているので気になっていた。高齢運転者へ向ける世間の目がきびしくなっているのを感じる。

「自分に限ってそんなことは…」と思うのがよくないだろう。年をとるにつれて「不測の事態がおこったり、遭ったりするのでは」と不安に思うことが多くなっていた。車保険の書き替え時に特にそうである。

今まで殆ど毎日車を使っていた。仕事や生活、余暇等で乗っていた。車は2台ある。ニッサンティーダ ラティオとBMW Z4 クーペ。ティーダは毎回の通勤や家内のショッピング、その他近場の雑用等に使っていた。クーペはスポーツタイプの2シーターで、余暇や遊びに使っていた。「年寄りの冷や水」と笑われそうだったが、「かまうものか、腕はたしかさ」とうそぶきながらクーペを駆っていた。家内も車は嫌いではないので、二人でよく山原等へ出かけた。

クーペはエンジンをスタートさせただけで胸に高まりが押し寄せ、これから始まるエキサイティングな体験を予感させた。踏み込めば瞬時に正確に反応し駆け始める。深く沈みこんだ

シートから躍動感が伝ってきて、平凡な日々からわれわれを解き放つ。目の前には夢色の道が伸びていく。コーナーリングも安定し、U字カーブの下り坂もエンジンブレーキだけで駆け抜けたものだ。

今帰仁や本部、喜如嘉等によく行った。家内もよくハンドルを握って山原路を走った。その家内が一昨年秋逝ってしまった。……彼女を亡くしてまるで世界が変わった。ほんとにまいった、車への熱気もすっかりさめた。あの雨上がりの仲原馬場の情景が時に頭に浮かぶが、はるか遠い昔のように思われる。

気が付くと心身ともに覇気がなくなり、ヨボヨボしてきている。運転時に常に安全を保証する力も弱まった。我ながらなさけないがこのあたりが潮時だろう。息子たちの問いかけもある。ここはきっぱりと免許証を返納した。

思えば、車の持つ利便性、機動性、快感からもおさらばした。外出時の不便さ、面倒くささがこたえるが、それは覚悟していたことで、当分はそんなことが続くのだろう。でも最近乗っていた頃のあのいやな緊張感、不安、危機感、ヒヤヒヤ感から解放されたのは大きい。それは自分よりもひと様へ向けての安堵感のようだ。

まだ2週間しかたっていないので分らないが、車なしの不便さ面倒くささ退屈さは、時間が消えさせてくれるのではと樂觀している。

改めて自分の足腰をかえりみるとしばらくは
何とかなっていきそうに思う。ちょっとキザっ
ぽくいえば、大地を踏みしめて「ノーカーライフ」
を始めてみよう。「大地はいつでもあなたに踏ま
れて、そこからあなたに何かが生まれてくことを
求めている」というような意味のことを誰かが
詩っていたが、そんなロマンチックなことを考
えながら始めてみよう。危機をはらんでいた車か
らついに降りた、あの大きなオモチャも手放した、
負け惜しみではないが気が楽になった。

自分の足で歩いてみると、車に乗っていた頃より、何だかその辺の風景や人々が身近になり、好ましく感じられるようになった。ありがたいと思う。車を降りてよかった。

お知らせ

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター 医療関係者研修開催のお知らせ

本会では昨年度に引き続き、沖縄県からの委託を受けて、沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター医療関係者研修を下記のとおり開催いたします。

本研修では、性暴力被害者への被害直後からの総合的支援のあり方について、理解を深めて貰う機会にしたいと考えておりますので、貴職をはじめ貴施設に勤務する医療従事者等、多数ご参加いただきたくご案内申し上げます。参加ご希望の方は、研修日に○印を付け、必要事項を記載の上、FAX（098-888-0089）にて各日程の2週間前までにお申し込み下さい。

【研修申込】

研修日	☐ 令和2年2月11日（火）	☐ 令和2年3月15日（日）
所属機関		
連絡先		
氏 名		
職 種	経験年数	年 月 日
担当業務		

【研修内容】

研修日時/場所	研修内容	研修講師
令和2年 2月11日（火） 14:00～17:00 於：沖縄県医師会館	性虐待全体について	認定 NPO 法人 チャイルドファーストジャパン 理事長 山田不二子 先生
令和2年 3月15日（日） 13:00～16:00 於：沖縄県医師会館	性虐待・性暴力被害の 心理的影響やケアについて	こころとからだ・光の花クリニック 院長 白川美也子 先生

各日程の2週間前までに FAX にてお申し込み下さい。

📄 申込が複数いる場合はコピーをご利用ください。

沖縄県医師会 崎原
TEL: 098-888-0087
FAX: 098-888-0089

お知らせ

首里城火災復旧支援金のご協力について（お願い）

本会から会員宛、標記支援に係るご協力について、文書にてご依頼申し上げたところではありますが、本誌でも広く会員より寄付を募ることといたしました。

つきましては、本趣旨にご賛同いただきご協力賜りますようお願い申し上げます。

本支援金の申込につきましては、「首里城火災復旧支援金申込書」をコピーの上、FAX（098-888-0089）にてお申込み頂きますようお願い致します。

問合せ先：沖縄県医師会 経理課
(TEL：098-888-0087)

首里城火災復旧支援金趣意書

令和元年 10 月 31 日未明に、沖縄県民にとって象徴的な存在であり、歴史と文化の心に彩られた首里城が、火災により正殿をはじめとする 7 棟が焼失するという甚大な被害を受けました。

また、建物だけに留まらず琉球王朝時代から伝わる書跡や工芸品等、貴重な収蔵品も 400 点以上が焼失したとみられております。

我々県民にとって、首里城は沖縄復興のシンボルであるとともに県民の誇りであり、多くの皆様が心を痛めておられることと存じます。

首里城の再建に向けた動きが加速する中、沖縄県内外の方々より、首里城火災の復旧・復興のための多数の励ましや支援の申し出が寄せられているとのことです。

このような状況を踏まえ、沖縄県医師会としましては、会員の皆様を対象として首里城再建に向けた支援金募集を開始することにいたしました。

この募集により、皆様からお預かりした支援金は、その全額を首里城の復旧・復興に取り組む沖縄県へ寄付させていただきます。

つきましては、一人でも多くの会員の皆様がこの趣旨にご賛同賜り、一丸となって沖縄の歴史を物語る文化遺産である首里城が一日でも早く復興できるようにお手伝いをして参りたいと存じます。

何卒ご理解及びご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

令和元年 11 月 28 日
一般社団法人 沖縄県医師会
会長 安里 哲 好

募集要綱

- 支援金の名称 首里城火災復旧支援金
- 募集期間 令和元年 12 月 2 日～令和 2 年 5 月 29 日
- 支援金額 一口 3,000 円（何口でも可）
※一口 3,000 円は目安です。希望する金額をお願い致します。
- 申込み及び納付方法
別紙「首里城火災復旧支援金申込書」により申し込み（本会宛 FAX または郵送）のうえ、5 月 29 日（金）までに下記口座へお振込み頂きますようお願い致します。
●沖縄銀行 我如古支店 口座番号 1725534
●琉球銀行 真栄原支店 口座番号 0511428
口座名義 しや おきなわけんいしかい しゅりじょうかさいふっきゅうしえんきん じょうにんりじ いなだたかし 社）沖縄県医師会 首里城火災復旧支援金 常任理事 稲田隆司
※振込口座名は、「沖縄県医師会首里城支援金」と省力も可。
※募集期間終了後、お預かりした支援金はその全額を速やかに沖縄県へ寄付いたします。
- 支援金の税制上の取扱い
この支援金は、「国又は地方公共団体に対する寄附金」並びに「都道府県、市町村又は特別区に対する寄附金」に該当します。個人の方は寄付金控除（所得控除）、法人（医療法人等）の方は損金算入が認められます。支援金をお寄せ頂きました全会員宛、本会にて発行した寄付金受領証明書を送付いたしますので大切に保管ください。
※募集期間を過ぎて振り込まれた支援金については、上記寄附金には該当せず、寄付金控除や損金算入が認められませんが、ご留意ください。

首里城火災復旧支援金申込書

令和 年 月 日

沖縄県医師会経理課 行

FAX 098-888-0089

(TEL 098-888-0087)

住所

医療機関名

氏名

電話番号

記

●支援金額（口数及び金額をご記入ください）

※一口 3,000 円

申込口数（ ）口 金額（ ）円

※一口 3,000 円は目安です。希望する金額をお願い致します。

●振込日 振込予定日 月 日

※本支援金は、引き取り対応ができませんのでご了承ください。

●振込先口座

沖縄銀行 我如古支店 口座番号1725534

琉球銀行 真栄原支店 口座番号0511428

口座名義 しゃ おきなわけんいしかい しゅりじょうかさいふっきゅうしえんきん じょうにん りじ いなだたかし
社）沖縄県医師会 首里城火災復旧支援金 常任理事 稲田隆司

※振込口座名は、「沖縄県医師会首里城支援金」と省力も可。

※募集期間中の振込手数料はかかりません。

※但し、琉球銀行については、窓口にてお振込み頂いた場合に限りです。

沖縄県感染症発生動向調査報告状況

(定点把握対象疾患)

疾 病	定点区分	48 週	49 週	50 週	51 週	52 週	
		12/1	12/8	12/15	12/22	12/29 (定点あたり)	
		報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	
インフルエンザ	インフルエンザ	223	257	331	427	648	(11.17)
RS ウイルス感染症	小児科	0	0	0	1	1	(0.03)
咽頭結膜熱	小児科	25	24	20	25	27	(0.79)
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	49	56	66	82	93	(2.74)
感染性胃腸炎	小児科	73	71	77	81	100	(2.94)
水痘	小児科	12	13	23	15	32	(0.94)
手足口病	小児科	12	6	15	3	8	(0.24)
伝染性紅斑	小児科	6	1	7	5	2	(0.06)
突発性発疹	小児科	12	7	9	17	6	(0.18)
ヘルパンギーナ	小児科	7	5	5	4	11	(0.32)
流行性耳下腺炎	小児科	0	2	2	1	3	(0.09)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	13	13	13	8	6	(0.67)
細菌性髄膜炎	基幹	0	1	0	0	1	(0.14)
無菌性髄膜炎	基幹	0	3	1	2	3	(0.43)
マイコプラズマ肺炎	基幹	4	2	3	3	0	(0.00)
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	基幹	0	0	0	0	0	(0.00)
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	基幹	0	0	0	0	0	(0.00)

※1. 定点あたり・・・対象となる五類感染症（インフルエンザなど18の感染症）について、沖縄県で定点として選定された医療機関からの報告数を定点数で割った値のことで、言いかえると定点1医療機関当たりの平均報告数のことです。
(インフルエンザ定点58、小児科定点34、眼科定点10、基幹定点7点)

※2. 最新の情報は直接沖縄県感染症情報センターホームページへアクセスしてください。
麻疹の情報も随時更新しております。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjohou/home.html>

お 知 ら せ

沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課からのお知らせ

インバウンド医療通訳コールセンター の開設について

今般、沖縄県では、外国人観光客の医療問題に対応すべく、24時間365日対応の多言語コールセンター（名称：Be.Okinawaインバウンド医療通訳コールセンター）を開設し、①電話通訳 ②メール翻訳サービス ③医療機関向け相談窓口 をすべて無償で実施しております。

各医療機関におかれましては、是非、有効利用下さいますようお願い申し上げます。

無料

24時間365日対応



① 電話医療通訳サービス (16カ国語対応)

0570-050-232

② メール翻訳サービス (16カ国語対応)

okinawa_mi@okinawa-kanko.com

③ インバウンド対応相談窓口

info@okinawasoudan.com
0570-050-233



Be.Okinawaインバウンド医療通訳センター
(沖縄県行政支援事業)

医療通訳サービス運営事務局((株)ブリックス (株)シャイニング)
TEL: 098-868-5230 (平日9:30-18:00) / FAX: 043-332-8868 / Email: okinawa@bricks-corp.com